

市議会だより

編集 議会だより編集委員会
発行 豊明市議会事務局(0562-92-1121)



豊明村当時の役場庁舎

祝 豊明市制施行 40 周年



豊明今昔
豊明市役所

昭和47年8月1日、愛知県下30番目の市として、豊明市は誕生しました。
市役所庁舎も鉄筋コンクリート造に一新。平成16年には、東館もオープンし
現在に至ります。



豊明町当時の役場庁舎

..... あんない

決まった主なことから	P 2
議案等の審議結果	P 3
討論(議案等に対する意見)	P 4 ~ P6

平成24年 6月定例会議会

決まった主なことから

6月定例会月議会は、平成24年6月8日から6月28日までの21日間にわたり開催され、議案9件、陳情3件のほか、議員から提出された動議1件などを審議しました。

人事案件

〔敬称略〕

◎教育委員会の委員の任命

任期満了（7月31日）に伴い、次の方の再任に同意しました。

山下 徳治

（任期は4年）
（栄町南館）

◎教育委員会の委員の任命

丸山千代子委員の任期満了（7月31日）に伴い、後任に次の方の任命に同意しました。

市野 光信

（任期は4年）
（二村台4丁目）

◎農業委員会の委員の推薦

議会推薦の近藤郁子委員（議員）の辞任（5月31日）に伴い、後任に次の方を推薦することに決まりました。

青木 秀子

（栄町上ノ山）

補正予算

◎一般会計補正予算

今回、議決された補正予算は、既存の予算に、1389万6千円を追加し、歳入歳出それぞれ174億4589万6千円となりました。

主な事業は、次のとおりです。

秘書人事管理事務事業

11万6千円

地域農政推進対策事業

242万8千円

教育振興事業

67万5千円

文化財保護事業

99万7千円

スポーツ振興事業

611万円

体育施設維持管理事業

357万円

（詳細については、財政課でお尋ねください。）

特別委員会を設置

6月定例会月議会初日の6月8日の本会議に「市職員職場環境調査特別委員会の設置について」の動議が提出され、可決されました。

名 称

市職員職場環境調査

特別委員会

付託事項

1 職員数の削減と長時間労働の実態について

2 職場環境配慮の実態について

3 職員の安全と健康の確保の実態について

定 数 10名

調査期間

調査終了まで存続するものとする。

委員名

（◎委員長、○副委員長）

◎伊藤 清 ○前山美恵子

川上 裕 藤江真理子

近藤 千鶴 杉浦 光男

近藤 恵子 平野 龍司

平野 敬祐 堀田 勝司

提出された議案

議案番号	件名	議決状況 可否決の別	賛成
議案 43	教育委員会の委員の任命	6・8 可決	19
議案 44	教育委員会の委員の任命	6・8 可決	19
議案 45	公益的法人等への職員の派遣に関する条例の一部改正	6・28 可決	19
議案 46	豊明市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	6・28 可決	18
議案 47	豊明市税条例の一部改正	6・28 可決	19
議案 48	豊明市火災予防条例の一部改正	6・28 可決	19
議案 49	東部知多衛生組合規約の変更	6・28 可決	19
議案 50	平成24年度豊明市一般会計補正予算（第1号）	6・28 可決	18
議案 51	平成24年度豊明市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	6・28 可決	19
報告 2	平成23年度豊明市土地開発公社決算並びに平成24年度豊明市土地開発公社事業計画及び予算の報告	6・8 報告	1
報告 3	専決処分事項の報告（損害賠償額の専決処分）	6・18 報告	1
推薦 1	農業委員会の委員となるべき者の推薦	6・8 推薦	19
動議 3	市職員職場環境調査特別委員会の設置	6・8 可決	13
陳情 2	議員派遣の件	6・8 趣旨採択	13
陳情 3	市議会傍聴者および希望者への定例議会の議員による一般質問通告書の写しの配布を求める陳情	6・28 不採択	7
陳情 4	市議会傍聴席での電子機器の使用を求める陳情	6・28 不採択	0



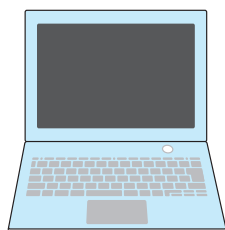
議案等の審議結果

(全会一致でない議案等の賛否)

○：賛成 ×：反対

議案等番号	会派名	市政会					市政改革の会			清新会		公明党 市議団	—									
	議 員 名 件 名	三浦桂司	平野龍司	平野敬祐	村山金敏	安井明	伊藤清	堀田勝司	藤江真理子	早川直彦	近藤恵子	山盛左千江	川上裕	毛受明宏	近藤郁子	近藤千鶴	一色美智子	近藤善人	杉浦光男	月岡修一	前山美恵子	
議 案 46	豊明市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議 案 50	平成 24 年度豊明市一般会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
動 議 3	市職員職場環境調査特別委員会の設置	○	○	○	○		○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
陳 情 2	市議会傍聴者および希望者への定例議会の議員による一般質問通告書の写しの配布を求める陳情	○	○	○	○		○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
陳 情 3	透明性を持った議会運営委員会の確立を求める陳情	×	×	×	×		×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	

※陳情2は趣旨採択について採決した結果であり、×の議員は採択又は不採択の意思表示はしていません。



●市議会傍聴席での電子機器の使用を求める陳情
平成 24 年 6 月 28 日
不採択

●透明性を持った議会運営委員会の確立を求める陳情
平成 24 年 6 月 28 日
不採択

●市議会傍聴者および希望者への定例議会の議員による一般質問通告書の写しの配布を求める陳情
平成 24 年 6 月 28 日
趣旨採択

陳情

請願・陳情

皆さんの希望や意見を直接、市政に反映させるための手段として、請願書や陳情書を議会に提出することができます。

■ 請願及び陳情の提出方法

請願書・陳情書は、市政についての要望等を簡潔に記載し、提出年月日、提出者の住所及び氏名（法人の場合は、その名称及び代表者の氏名）を書き、押印したものを議長に提出することになっています。

請願書を提出する際には、1 名以上の議員の紹介が必要です。（陳情書は、紹介議員は不要です。）

請願書・陳情書はいつでも受け付けていますが、事務処理の都合により各定例月議会の初日の 7 日前（市の休日の場合は、その前日）までの提出にご協力ください。

議員派遣

平成 24 年 6 月定例月議会
で、次の件が議決されました。

議員派遣の件

平成 24 年 6 月 8 日

豊明市議会会議規則第 15 条の規定により、次のとおり議員を派遣する。

1 友好自治体議員合同研修会

(1) 派遣目的

住民交流の促進に係る行政施策の実情調査及び議

(2)

愛知県日進市

(3) 派遣期日

平成 24 年 8 月 7 日

(4) 派遣議員

議員全員

2 尾三十市議会議員合同研修会

(1) 派遣目的

地方行政の重要課題に関する研修

(2) 派遣場所

愛知県日進市

(3) 派遣期日

平成 24 年 8 月 7 日

(4) 派遣議員

議員全員

(2) 議員意見交換

愛知県北設楽郡豊根村

(3) 派遣期間

平成 24 年 7 月 10 日から

(4) 派遣議員

7 月 11 日（2 日間）
議員全員

議案等に対する

討 論

（議会の最終日に各会派等の意見を代表して6名の議員が賛成・反対討論を行いました。）

◆ 市政会 ◆

副市長の選考委員会について

副市長の選任に当たり選考委員会を設けるという提案は、審査の過程で、またしても市長の思いつき、将来ビジョンのない、具体的内容を伴わない提案であることが浮き彫りになった。

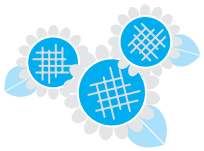
市長就任後1年が経過したが、いつもパフォーマン

スに終始し、アイデアを持たず、自身の考えが唯一絶対かのような振る舞いは重大な問題を引き起こしている。市民の声を聞く、市民参加と言いながら、自身の考えのみを強引に無理強いする姿は十分な反省が必要である。

副市長公募については、マスコミでも大きく取り上げられ、相当の反響があると思う。他市では1000名を超える応募があったが、本市でも最低100名から200名くらいはあると思いたい。が、現実には厳しいのではない。なぜなら市長が求める副市長像について、その役割を明確にしていな

い。持っていないからである。いつものように思い付きだけで、重要な職務を担う副市長を公募するという行為がどういう結果を招くか。市の将来を担う自覚、このまちの目指すべき姿を持たない市長の劇場型政治の悲劇である。

委員会の構成も問題がある。市長が7名の委員の中に入るとのことだが、地方自治法で副市長の発案権は市長に専属すると解されている。つまり、副市長の選任について、他の6名の委員と市長は保持する権限に重大な差異がある。権利を持つ市長と持たない他の6名が混在することは、スタートから公平性を欠く。委員選任については一考を求め賛成とする。



◆ 市政改革の会 ◆

「副市長市民選考委員は、市民への権限移譲」

今議案で争点となった「副市長候補者選考委員会」は、市長、職員2名、市民4名の7人で構成されています。公募の副市長人選に市民を加えることの是非、市長が選考に加わるべきか否かで意見が分かれました。

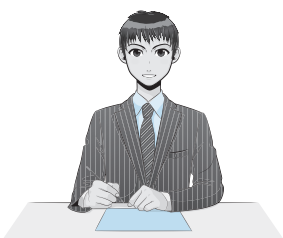
の質問に答える様子が市民に公開されます。実に画期的なことで、こうした取り組みにより、行政への参加意識が高まり、信頼につながると評価します。

ブラックボックスだった副市長人選に市民を加えることで透明性の確保と公平性、何より行政にない企業経営者や各種団体の方々の感性がプラスされることのメリットは大きいと思います。

選考委員に市長が入ると、無言の圧力となり市民選考委員さんが遠慮される、心理的圧迫になるとの発言がありました。市長も市民委員と同じ点数配分で採点し、市長の任命権者としての権限は、最終決断のみに限定されるということです。まさに「市民への権限移譲」、市民にとっても、職員にとっても納得できる副市長選出となることを期待して賛成します。

今、市民が行政に求めているのは、役所の体質改善ではないでしょうか。独自性やコスト意識、目標管理といった民間では当然のことを取り入れ、豊明市が自治体間競争に勝ち抜く力をつけるためにも、多面的視点から人選された副市長が必要です。

2次選考は「公開面接」が予定され、1次選考された複数の候補者が選考委員



◆ 清新会 ◆

議案46号 豊明市特別職の職員で
非常勤の者の報酬及び費用弁償等
に関する条例の一部改正について

この議案は、副市長候補者選考委員会委員とスポーツ推進計画策定委員会委員を新設し、報酬等を支払うことを決めるもの。同時期に条例改正が必要になったために1つの議案になった。

スポーツ推進計画策定委員会委員については、市内の関係団体より選出される委員により委員会が設定されており、推進計画の作成が期待される。

一方の副市長候補者選考委員会委員は、既に公募が始まっている副市長を選考する委員会（委員）を新設するということであり、慣例では、市長が決めた人物に対し、議会はお願しているかどうかを決めるものだが、今回の議案はその人物を決めるための委員会を置くことに對しての賛否を問うもので、副市長について直接触れるこ

とはできない。副市長の責務は大きく、市民からも多数心配事項をいただき、付託された総務委員会では委員会委員の選考基準や委員会のあり方であまいな点を質疑し、人物の最終決定は従前どおり市長であることなど確認し審査。

結果、清新会として賛成の立場で討論。討論の内容は次のとおり。『始めにスポーツ推進計画策定委員会委員の新設について。市民の生活の基本である心身の健康には不可欠であり、今年度中にじっくり審議をしていただき、策定いただきますようお願いしたい。副市長候補者選考委員会委員の新設については、副市長公募という県内初の試みで、豊明市民の願い《これからの豊明市》が反映されることを切に願って賛成。』とする。

◆ 公明党市議団 ◆

希望を持って全議案賛成する
一般会計補正予算について

今回の補正予算につきましては、県の緊急雇用創出事業費補助金にかかるもの、同じく県の委託金によるもの、さらに市独自のものの3つの要素から成り立っております。

秘書人事管理費は、副市長を選考するための委員会の報酬を定めるものであります。今回の副市長の選考においては、新たに選考委員会を設置し、選考の過程を市民に公開しながら、各種団体や有識者で構成される選考委員会によって選考していくというものであります。

これは、私たち議員もめざしています開かれた議会、市民が行政へ積極的に参加をするものであり、行政の透明化につながるものであります。本市の今後の行政にとって、地域主権や住民参加の重要な一歩になります。

教育振興費は県の委託事業として実施するものであり、子どもたちの学習支援や人間としての成長に必要であり、かかせないものであります。

文化財保護費は出土品遺物の洗浄整理事業委託金であります。

保健体育総務費はスポーツ推進計画策定委員の報酬及び通信運搬費・スポーツ推進計画策定業務委託料で地域総合型のスポーツ活動を目指し交流をして健康で生き生きとした地域社会を作ろうというものであります。

学校スポーツ開放施設工事費は豊明小学校の防球ネットのかさ上げであります。

今回の補正予算については、本市にとってどれも必要な補正でありますので賛成いたします。

◆ 日本共産党 ◆

民間からの副市長の公募は
問題が多い

民間からの副市長公募に関して、その選考委員会委員の報酬に関する条例改正案が提案されました。

副市長公募のきっかけとなったのが、4月人事異動において、市長が健康福祉部長、市民生活部長の2部長を欠員させ、その任務を副市長に事務取扱とさせたことにより、これが原因で副市長辞職へとつながりました。

この市長の責任は重大です。その後始末のための副市長公募に関する出費は認められません。

いま、本市に必要と

される副市長は行政職に精通した人物でなければ組織的に立て直しができないため、行政経験のない民間人では務まらないと考えます。

公募に関する選考委員会委員基準や選考過程など具体的に決められていないため、副市長公募も急遽の思いつきで計画されたものと感じられます。

また、選考委員に市長が加わることで各委員との関係で公平な審査ができないなど問題が多く含まれており、この条例改正案に反対です。



響

議案第50号平成24年度豊明市
一般会計補正予算の討論

秘書人事管理事務費の執行には、反対の立場です。

今後も石川市長を支持していきたいとの気持ちはいささかも変化はありません。

しかし、議案第50号に対して賛成の表明はできません。世の中は多士済々であります。小論文の内容だけで潜在的な能力や人格や力量が読み取れるのでしょうか、甚だ疑問に感じています。委員会における石川市長の答弁を聞いてみると市長の考え方を十分に理解し、政策的な部分で共通の認識をしてくれそ

うな人に絞っているようですが、角度を変えて判断すればただ単に自分に対する絶対的なイエスマンを求めているように映る。

副市長の立場は多岐にわたり、市長の判断次第では途方もない多忙な立場になるおそれがある。それを承知して公募に応じる人はいないと思う。公募で選ばれた副市長が任期途中で退任することがないように祈る。

今回、市民から参画をしていただく選考委員の方には無償ボランティアとして能力の提供を求めるべきである。

今回、市民から参画をしていただく選考委員の方には無償ボランティアとして能力の提供を求めるべきである。

※一般質問は、9月1日号に掲載を予定しています。



議

会

日

誌

4月

13日 会館競馬場所在都市議会

協議会定期総会（千葉市）

19日 東海市議会議長会定期総

会（岐阜市）

23日 全員協議会

会派会議

25日 東部知多衛生組合議会臨

時

5月

9日 議会運営委員会

議会だより編集委員会

会派会議

16日 開会議会

18日 議会運営委員会

会派会議

21日 全員協議会

正副委員長会

長野県東御市議会

員行政視察来訪

23日 全国市議会議長会定期総

会（東京都）

30日 東部知多衛生組合議会臨

時

31日 会派会議

6月

4日 議会運営委員会

会派会議

愛知県競馬組合議会臨時

会

8日～28日

6月定例月議会

会派会議

18日 議会運営委員会

会派会議

22日 市職員職場環境調査特別

委員会

28日 全員協議会

7月

10日 市職員職場環境調査特別

委員会

10日～11日

友好自治体議員合同研修

会（豊根村）

13日 議会だより編集委員会

議会運営委員会

9月定例月議会の開催日程(予定)

- 8月 29日(水) 本会議(議案上程・提案説明)
- 9月 3日(月) 本会議(一般質問)
- 9月 4日(火) 本会議(一般質問)
- 9月 5日(水) 本会議(一般質問)
- 9月 7日(金) 本会議(議案質疑・委員会付託)
- 9月 10日(月) 総務委員会
- 9月 11日(火) 福祉文教委員会
- 9月 12日(水) 建設消防委員会
- 9月 18日(火)・19日(水) 決算特別委員会
- 9月 27日(木) 本会議(委員長報告・討論・採決)

※本会議・委員会とも午前10時より開かれます。
上記は予定のため、変更される場合があります
 ので、ご了承ください。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

電話 0562-92-1121